

【特集2】 学生の活躍 東日本農業大学校等プロジェクト発表会で上位入賞

平成28年1月21日、22日、本校研修施設「緑風館」で「平成27年度東日本農業大学校等プロジェクト発表会・交換大会」が開催されました。

今大会は北海道・東北の6つの農業大学校等の代表者が、プロジェクト発表の部で17課題、意見発表の部で12課題について発表し、プロジェクト発表の部では上位3名が、意見発表の部では上位2名が全国大会に出場する権利を獲得することができました。

本校を代表して発表した学生達は、やや緊張した様子でしたが、これまでの練習の成果を十二分に発揮し、堂々とした態度で発表していました。発表者以外の学生についても、他校の学生の意見やプロジェクトを直に聴講でき、自身の学習に大変参考になったことと思います。

審査の結果、プロジェクト発表の部では、最優秀賞（第1位）を稲作経営



学科2年の菊地大道さんが、優秀賞（第2位）を農産加工経営学科2年の渡辺謙太郎さんが受賞しました。意見発表の部では、最優秀賞（第1位）を稲作経営学科1年の本間和弥さんが受賞しました。

昨年に続いてプロジェクト発表の部で上位入賞し、意見発表の部では6年連続で最優秀賞を本校学生が受賞しています。

受賞した学生は、2月21日～23日に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）で開催された全国農業大学校等プロジェクト発表会に出場し、全国の農業大学校等の代表者と競い合いました。その結果、プロジェクト発表の部で、特別賞（ヤンマー株式会社賞）を稲作経営学科2年の菊地大道さんが、見事に受賞しました。

出場した学生の皆さん、お疲れさまでした。今後の活躍を期待します。



【特集3】 平成27年度研修生を紹介します

《農業ビジネス支援研修》

飯尾 美紀さん（天童市）

果樹経営を行う飯尾さんは、青果の価格低迷の打開策として、6次産業化に関心を持ち当研修を受講し、農産加工経営に必要な知識と技術を総合的に学びました。現在は加工品の委託製造を行って



いますが、将来は加工所開設や新商品開発を手掛けたいと考えています。

《新規就農支援研修》

江刺貴博さん（尾花沢市）

江刺さんは、尾花沢のブランド品目のすいかを主体とした農業を行いたいと当研修で2年間学んできました。この4月から約50aの農地で経営をスタートし、徐々に規模拡大を図り、近い



将来、地域の人が一目置かれる農業経営者になりたいと意欲満々です。

ヤンマー学生作文

平成28年1月29日（金）、ヤンマー㈱主催の「第26回ヤンマー学生懸賞論文・作文」の作文の部で、稲作経営学科1年の本間和弥さんが銅賞に入選し、表彰を受けました。

本間さんは「将来の夢の農業」と題し、安全安心で日本一おいしい米をつくらせて販売し農業の魅力を広めたい、その栽培方法を地域に広めてブランド化していきたいという、自身の夢を作文にまとめました。本校の学生が入選する



のは5年連続となります。